

1.1 学科・専攻ごとの名称及び教育研究上の目的

☆幼児保育学科

- (1) 保育及び幼児教育に携わる専門職業人としての自覚・責任感・倫理観を育成する。
 - (2) ケアスペシャリストとして、人と信頼関係を築くことができる豊かな人間性を育成する。
 - (3) 保育及び幼児教育に携わる専門職業人に必要な専門知識・技術・思考能力を育成する。
 - (4) 地域における保育及び幼児教育の多様化、個別化するニーズに応える実践能力を育成する。
-

☆介護福祉学科

- (1) 豊かな感性を備え、人への深い関心を持ち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。
 - (2) 社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。
 - (3) 地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を考えることのできる力を養う。
-

☆看護学科

- (1) 体系化された実践科学としての看護学を修得し、実践応用の力を身につける。
 - (2) 豊かな人間性を持った社会性のある看護専門職者として基本的な能力を身につける。
 - (3) 看護専門職者としての意識、責任感、倫理観を身につける
 - (4) 看護専門職者として、地域特性を見極めた看護が提供できる能力を身につける。
 - (5) 国家試験に合格する看護の知識と技術水準を身につける。
-

☆専攻科福祉専攻

- (1) 豊かな感性を備え、人への深い関心を持ち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。
 - (2) 社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。
 - (3) 地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を考えることのできる力を養う。
-